

博物館関係者必見！



公開フォーラム

「教員のための 博物館の日2024」 事例報告会

「教員のための博物館の日」は幅広い層の先生にまずは来館してもらい、博物館に親しみを持ってもらうこと、学習資源を知ってもらうことをねらいとした事業です。

この事業について、今年度の開催状況やこれまでの各館の取組・工夫などの好事例を共有し、どうすれば来年度の各館での活動の充実につながるか、皆様と一緒に考えます。また実施館だけでなく、実施を検討している館もぜひご参加ください。

開催日 2024年**12/13** 金

時間 **13:00～17:00** 受付 12:30～

開催形態 第一部 ハイブリッド形式 (対面+オンライン)
第二部 対面形式
※オンライン配信はZoomを使用予定です。

会場 国立科学博物館 上野本館 日本館2階講堂
※一部、オンライン同時配信あり

対象 ・「教員のための博物館の日」実施館担当者
・実施をご検討中の博物館関係者
・博物館行政関係者

参加費 無料

定員 対面形式：**80名** (事前申込制・先着順)
+ オンライン形式での参加

申込方法 裏面のQRコードより申込サイトにアクセスしてください。
12/2(月)17:00までにお申込みください。

主催 独立行政法人国立科学博物館 共催 公益財団法人日本博物館協会



◇第一部 (オンライン同時配信あり)

13:00 開会行事

13:05 「教員のための博物館の日」開催状況について

濱村 伸治 (国立科学博物館 学習課長)

13:30～15:05 事例等発表

・事例1 「近隣博物館との連携について」

－地域の個性を活かした総合博物館的機能連携を目指して－

濱崎 真二 氏 (下関市立考古博物館 館長)

・事例2 「教育委員会や教育センターとの連携について」

大江 彩佳 氏 (大阪市立自然史博物館 総務課博学連携担当)

・事例3 「学校での未来館活用を探る－先生方とのコミュニケーションについて－」

濱田 牧子 氏 (日本科学未来館 科学コミュニケーション室副調査役)

14:35～14:45 休憩

・学校関係者からとらえた博学連携

「学校管理職や教育行政担当の立場から見た博学連携について」

田中 邦典 氏 (埼玉県立総合教育センター 所長)

15:05～15:45 パネルディスカッション

テーマ : 各館に応じた「教員のための博物館の日」について考える

パネリスト : 「事例等発表」の登壇者4名及び国立科学博物館職員

進行 : 小川 義和 氏 (立正大学 教授 / 埼玉県立川の博物館 館長)

15:45～15:55 休憩

◇第二部 (オンライン同時配信なし)

15:55～16:50 交流セッション

事例報告の3名に新たに2名を加えた5つのブースに分かれて情報交流を行います。

以下の5つのブースより2つ選んでご参加いただきます。詳細は参加申込サイトをご覧ください。

- ・ブース1 「近隣博物館との連携について」 (第一部事例1) 濱崎 真二 氏 (下関市立考古博物館)
- ・ブース2 「教育委員会や教育センターとの連携について」 (第一部事例2) 大江 彩佳 氏 (大阪市立自然史博物館)
- ・ブース3 「学校での未来館活用を探る」 (第一部事例3) 濱田 牧子 氏 (日本科学未来館)
- ・ブース4 「館種を越えた近隣施設との連携について」 河野 佑美 氏 (東京都美術館)
- ・ブース5 「複数館で持ち回り開催をする場合の連携と課題について」 古澤 明輝 氏 (大船渡市立博物館)

※その他、来年度本事業の実施をご検討中の館様からの質問に、国立科学博物館職員が随時お答えいたします。

16:50～17:00 閉会行事

【申込方法】 右のQRコードより申込サイトにアクセス

12/2(月) 17:00まで

【問い合わせ先】 国立科学博物館 学習課 学校連携担当

Email: museumforteachers@kahaku.go.jp Tel:03-5814-9105



参加申込サイト